

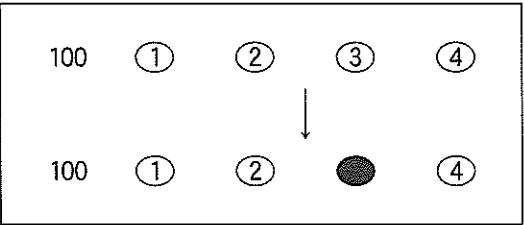
注意事項

- 1. 試験問題の数は 120 問で解答時間は正味 2 時間 30 分です。
- 2. 解答方法は次のとおりです。
  - (1) 各問題には 1 から 4 までの四つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを(例 1)では一つ、(例 2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

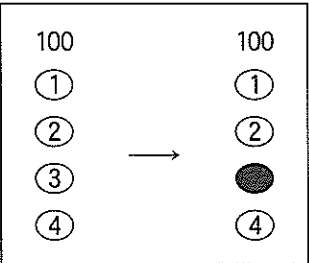
<p>(例 1) 問題 100 県庁所在地は どれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栃木市</li> <li>2. 川崎市</li> <li>3. 神戸市</li> <li>4. 倉敷市</li> </ol>	<p>(例 2) 問題 101 県庁所在地はどれか。 2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宇都宮市</li> <li>2. 川崎市</li> <li>3. 神戸市</li> <li>4. 倉敷市</li> </ol>
--	--

(例 1)の正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

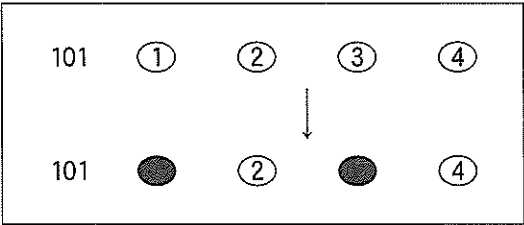


答案用紙②の場合

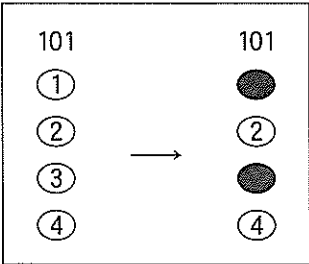


(例 2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の①と③をマークすればよい。

答案用紙①の場合



答案用紙②の場合



記載上の注意事項

- ① 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。  
良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)  
悪い解答の例…… ⊖ ⊕ ⊗ ⊙ (解答したことになる。)
- ② 答えを修正した場合には、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり ● のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- ③ (例1)の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。  
(例2)の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。
- ④ 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問題 1 大腿三角を構成しないのはどれか。

1. 兎径靭帯
2. 薄筋
3. 縫工筋
4. 長内転筋

問題 2 大脳髄質に存在するのはどれか。

1. 黒質
2. 内包
3. 中心管
4. 第4脳室

問題 3 皮静脈はどれか。

1. 内頸静脈
2. 腋窩静脈
3. 大伏在静脈
4. 大腿静脈

問題 4 副交感神経の節前線維が出るのはどれか。

1. 頸髄
2. 胸髄
3. 腰髄
4. 仙髄

問題 5 尿細管から再吸収された物質が通過する部位はどれか。

1. リンパ管
2. 尿管
3. 腎動脈
4. 腎静脈

問題 6 ホルモンの作用経路はどれか。

1. 消化液
2. リンパ液
3. 間質液
4. 血液

問題 7 上皮小体(副甲状腺)が血中濃度の調節に関与している電解質はどれか。

1.  $\text{Na}^+$
2.  $\text{Ca}^{2+}$
3.  $\text{K}^+$
4.  $\text{Cl}^-$

問題 8 原始反射はどれか。

1. ガラント反射
2. 下肢伸展反射
3. 足底反射
4. パラシュート反応

問題 9 物理的外因と病態との組合せで誤っているのはどれか。

1. 機械的損傷 ————— 控滅症候群
2. 高温 ————— 潜函病
3. 放射線 ————— 血小板減少
4. 光線 ————— 色素沈着

問題 10 予防接種で皮膚の消毒に通常用いられるのはどれか。

1. 石けん
2. グルタラール
3. 両性界面活性剤
4. エタノール

問題 11 柔道整復師の免許を与える者はどれか。

1. 厚生労働大臣
2. 文部科学大臣
3. 都道府県知事
4. 財団法人柔道整復研修試験財団理事長

問題 12 脳卒中発症後2週以内に行うことが少ないリハビリテーションプログラムはどれか。

1. 座位訓練
2. 機能肢位保持
3. 高次脳機能訓練
4. 他動的関節可動域訓練

問題 13 患者に対して開放型の質問はどれか。

1. 朝ごはんは食べましたか。
2. 今日は骨折で来たのですか。
3. 右足と左足とどちらが痛いのですか。
4. 今日はどのようなことで受診されましたか。

問題 14 脊柱側弯姿勢の原因となる疾患はどれか。

1. くる病
2. 腰椎椎間板ヘルニア
3. 破傷風
4. 強直性脊椎炎

問題 15 II度熱傷の局所徴候で正しいのはどれか。

1. 炭化
2. 感覚消失
3. 水疱形成
4. 硬化

問題 16 偽関節になりにくい部位はどれか。

1. 大腿骨頸部
2. 距骨頸部
3. 脛骨近位
4. 手舟状骨

問題 17 小児骨折で誤っているのはどれか。

1. 不全骨折を生じやすい。
2. 長期の固定を要する。
3. 過成長がみられる。
4. リモデリングが盛んである。

問題 18 幼児が転倒し手を衝いて発生しやすいのはどれか。

1. 橈骨遠位骨端離開
2. 肘関節脱臼
3. 上腕骨外科頸骨折
4. 肩関節脱臼

問題 19 骨癒合に良好な影響を与えるのはどれか。

1. 圧迫力
2. 剪断力
3. 捻転力
4. 牽引力

問題 20 骨折の非観血療法の利点はどれか。

1. 解剖学的整復が容易である。
2. 関節拘縮が残りやすい。
3. 感染のリスクが少ない。
4. 固定期間が短い。

問題 21 骨折固定の原則で誤っているのはどれか。

1. 解剖学的基本肢位である。
2. 再転位防止を目的とする。
3. 硬性材料が用いられる。
4. 上下各一関節を含める。

問題 22 後療法で誤っているのはどれか。

1. 物理療法が用いられる。
2. 固定除去後から開始する。
3. 手技療法は軽擦法から始める。
4. 誘導マッサージは患部から離れた中枢側に施す。

問題 23 合併症・後遺症とその要因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 骨化性筋炎 ————— 猛撃矯正
2. 骨壊死 ————— 骨頭骨折
3. 区画症候群 ————— 固定の長期化
4. 偽関節 ————— 開放骨折

問題 24 顎関節前方脱臼の弾発性固定に関与する筋はどれか。

1. 胸鎖乳突筋
2. 外側翼突筋
3. 口輪筋
4. 頬筋

問題 25 大腿骨頸部内側骨折の症状で誤っているのはどれか。

1. 棘果長は短縮する。
2. 腫脹は著明である。
3. 軸圧痛は著明である。
4. 下肢は外旋位である。

問題 26 鎖骨骨折で誤っているのはどれか。

1. 患側上肢を手で支えている。
2. 患側の肩幅は狭くなる。
3. 上方凸変形がみられる。
4. 患側の肩が高くなる。

問題 27 コーレス (Colles) 骨折の外観で誤っているのはどれか。

1. 手部の尺側偏位
2. フォーク状の変形
3. 手関節の前後径増大
4. 銃剣状の変形

問題 28 掌側凸変形になりやすいのはどれか。

1. 中手骨骨幹部骨折
2. 中手骨頸部骨折
3. 基節骨骨幹部骨折
4. 中節骨基部骨折

問題 29 直達外力による発生が多いのはどれか。

1. 肩鎖関節脱臼
2. 肩関節脱臼
3. 肘関節脱臼
4. 小児肘内障

問題 30 下腿に回旋ストレスを加えるのはどれか。

1. ラックマンテスト
2. グラスピングテスト
3. アプレーテスト
4. トーマステスト

問題 31 誤っている組合せはどれか。

1. 重層扁平上皮 ———— 胃粘膜
2. 多列線毛上皮 ———— 気管支粘膜
3. 線毛上皮 ———— 卵管粘膜
4. 移行上皮 ———— 膀胱粘膜

問題 32 誤っているのはどれか。

1. 筋原線維にミオシンが含まれる。
2. 骨格筋は随意筋である。
3. 心筋細胞は分枝する。
4. 平滑筋は横紋を呈する。

問題 33 骨の太さの成長に関与するのはどれか。

1. 骨端軟骨
2. 関節軟骨
3. 海綿骨
4. 骨 膜

問題 34 筋が骨の窩部に接していないのはどれか。

1. 側頭筋
2. 肩甲下筋
3. 腸骨筋
4. 前脛骨筋

問題 35 顔面神経に支配される筋はどれか。

1. 内側翼突筋
2. 側頭筋
3. 咬 筋
4. 広頸筋

問題 36 橈骨神経に支配される筋はどれか。

1. 烏口腕筋
2. 腕橈骨筋
3. 橈側手根屈筋
4. 上腕二頭筋長頭

問題 37 骨盤の分界線を構成するのはどれか。

1. 大坐骨孔
2. 閉鎖孔
3. 岬角
4. 坐骨結節

問題 38 正しいのはどれか。

1. 中動脈同士の交通を側副血行路という。
2. 吻合枝を有する動脈を終動脈という。
3. 冠状動脈は機能的終動脈である。
4. 硬膜静脈洞は伴行静脈である。

問題 39 正しいのはどれか。

1. 肺動脈の基部には冠状動脈の入口がある。
2. 大動脈弁には腱索が付く。
3. 心房中隔には卵円窩がある。
4. 右心耳の先端部は心尖と呼ばれる。

問題 40 腹大動脈の枝はどれか。

1. 中直腸動脈
2. 子宮動脈
3. 精巣動脈
4. 上膀胱動脈

問題 41 静脈血の流入経路の組合せで正しいのはどれか。

1. 卵巣静脈 ———— 内腸骨静脈
2. 食道静脈 ———— 奇静脈
3. 腎静脈 ———— 門脈
4. 脾静脈 ———— 下大静脈

問題 42 正しいのはどれか。

1. 両側上肢のリンパは右リンパ本幹に注ぐ。
2. 両側下肢のリンパは乳び槽に注ぐ。
3. 乳び槽のリンパは右リンパ本幹に注ぐ。
4. 胸管のリンパは右の静脈角に注ぐ。

問題 43 消化管で誤っているのはどれか。

1. 有郭乳頭は舌分界溝の前にある。
2. 胆汁は大十二指腸乳頭から出る。
3. オッディ括約筋は胃の幽門部にある。
4. バイエル板は回腸にある。

問題 44 肝臓の上面に接するのはどれか。

1. 胃
2. 脾臓
3. 胆嚢
4. 横隔膜

問題 45 反回神経に支配される筋はどれか。

1. 上咽頭収縮筋
2. 中咽頭収縮筋
3. 胸骨甲状筋
4. 後輪状披裂筋

問題 46 正しいのはどれか。

1. 肺は右が3葉で左が2葉である。
2. 肺の栄養血管は肺動脈である。
3. 左気管支は垂直に近い走行をする。
4. 胸部で気管は食道の後方に位置する。

問題 47 成人における正しい組合せはどれか。

1. 腎臓の長径 ————— 約5 cm
2. 腎小体の直径 ————— 約2 mm
3. 尿管の長さ ————— 約30 cm
4. 男性の尿道の長さ ————— 約8 cm

問題 48 血液が流れているのはどれか。

1. 糸球体
2. ボーマン嚢
3. ヘンレのワナ
4. 腎杯

問題 49 男女の泌尿・生殖器の対比で誤っているのはどれか。

1. 大陰唇に相当するのが陰嚢である。
2. 陰核に相当するのが陰茎である。
3. 子宮に相当するのが精嚢である。
4. 大前庭腺に相当するのが尿道球腺である。

問題 50 通常の受精部位はどこか。

1. 卵管采
2. 卵管膨大部
3. 卵管峡部
4. 子宮腔

問題 51 下垂体後葉で正しいのはどれか。

1. 皮質と髄質とからなる。
2. 神経内分泌系である。
3. カテコールアミンを分泌する。
4. 腺細胞からなる。

問題 52 副腎で電解質コルチコイドを分泌するのはどれか。

1. 皮質球状帯
2. 皮質束状帯
3. 皮質網状帯
4. 髄質



問題 53 神経終末に含まれるのはどれか。

1. 髄鞘
2. 粗面小胞体
3. ゴルジ装置
4. シナプス小胞

問題 54 髄膜で誤っているのはどれか。

1. 左右の脳半球の間には大脳鎌がある。
2. 大脳鎌の上縁には硬膜静脈洞がある。
3. 小脳と橋との間には小脳テントがある。
4. 小脳テントの開口部はテント切痕と呼ばれる。

問題 55 椎間孔にあるのはどれか。

1. 脊髄
2. 馬尾
3. 脊髄神経節
4. 交感神経幹

問題 56 脳神経に含まれる運動性線維で正しいのはどれか。

1. 動眼神経は上眼瞼挙筋を支配する。
2. 顔面神経は舌の運動に働く。
3. 右迷走神経は大動脈弓で反回する。
4. 副神経は頸神経ワナを経由する。

問題 57 誤っているのはどれか。

1. 水晶体が混濁した状態を白内障という。
2. 眼房水の循環障害で眼内圧が亢進する。
3. 網膜で最初に光を受け取るのは視細胞である。
4. 黄斑の中央部には視神経乳頭がある。

問題 58 平衡斑が存在するのはどれか。

1. 前庭
2. 蝸牛管
3. 鼓室階
4. 半規管

問題 59 腋窩の前壁を構成するのはどれか。

1. 三角筋
2. 棘上筋
3. 広背筋
4. 大胸筋

問題 60 ローゼル・ネラトン線で正しいのはどれか。

1. 腰椎穿刺を行う部位
2. 坐骨神経の圧痛点
3. 尺骨神経の触知部位
4. 大転子の触知部位

問題 61 高分子物質を消化する細胞内小器官はどれか。

1. ミトコンドリア
2. ペルオキシソーム
3. リボソーム
4. リソソーム

問題 62 体液で  $K^+$  濃度が  $Na^+$  濃度より高いのはどれか。

1. 細胞内液
2. 血液
3. 組織液
4. 体腔液

問題 63 線維素を溶解するのはどれか。

1. 第Ⅷ因子
2. ビタミン K
3. プラスミン
4. フィブリノーゲン

問題 64 収縮期血圧の上昇がみられるのはどれか。

1. 動脈平滑筋の弛緩
2. 血液量の減少
3. 心室収縮力の低下
4. 動脈弾性の低下

問題 65 喘息などの気道の閉塞性障害で低下するのはどれか。

1. 肺活量
2. 努力肺活量
3. 1 秒率
4. 機能的残気量

問題 66 ヘモグロビンからの酸素解離を促進するのはどれか。

1. 酸素分圧上昇
2. 二酸化炭素分圧低下
3. 低温
4. アシドーシス

問題 67 体内でステロイドホルモンの原料となるのはどれか。

1. トリグリセリド
2. コレステロール
3. リン脂質
4. 糖脂質

問題 68  $O_2$  消費量が  $10 \text{ l/時間}$ 、 $CO_2$  排出量が  $7 \text{ l/時間}$  であるとき、呼吸商はいくらか。

1. 0.7
2. 1.4
3. 3.0
4. 7.0

問題 69 胃液の分泌を抑制するのはどれか。

1. ガストリン
2. ヒスタミン
3. セクレチン
4. アセチルコリン

問題 70 胆汁色素のヘモグロビンからの代謝過程で正しいのはどれか。

1. 間接ビリルビン → 直接ビリルビン → ウロビリノゲン
2. 直接ビリルビン → 間接ビリルビン → ウロビリノゲン
3. 間接ビリルビン → ウロビリノゲン → 直接ビリルビン
4. ウロビリノゲン → 間接ビリルビン → 直接ビリルビン

問題 71 体温で正しいのはどれか。

1. 腋窩温は直腸温より高い。
2. 一日のうちで正午頃が最も高くなる。
3. 月経周期で卵胞期に高くなる。
4. 食事後 30～90 分に高くなる。

問題 72 尿の浸透圧が上昇するのはどれか。

1. 水分摂取の増加
2. 発汗の亢進
3. バソプレッシン分泌の低下
4. アルドステロン分泌の亢進

問題 73 尿細管で分泌されるのはどれか。

1. 水素イオン
2. ブドウ糖
3. ナトリウムイオン
4. イヌリン

問題 74 外分泌機能と内分泌機能の両者を有するのはどれか。

1. 膵 臓
2. 視床下部
3. 副腎髄質
4. 乳 腺

問題 75 視床下部で産生されるホルモンはどれか。

1. オキシトシン
2. ビタミン D
3. グルカゴン
4. アルドステロン

問題 76 インスリンで正しいのはどれか。

1. ステロイドホルモンである。
2. 膵臓の  $\alpha$  細胞から分泌される。
3. 血糖値の低下により分泌が刺激される。
4. グリコーゲンの合成を促進する。

問題 77 ビタミン D の活性化に重要な臓器はどれか。

1. 肺
2. 腎 臓
3. 心 臓
4. 脾 臓

問題 78 太い有髄神経線維に比較して細い有髄神経線維にあてはまるのはどれか。

1. 局所麻酔が速く効く。
2. 興奮の伝導速度が速い。
3. 圧迫により麻痺を起こしやすい。
4. 電気刺激による興奮の閾値が低い。

問題 79 延髄に存在しないのはどれか。

1. 唾液分泌中枢
2. 嚥下中枢
3. 満腹中枢
4. 嘔吐中枢

問題 80 ヒトの一次運動野の体部位再現で正しいのはどれか。

1. 下肢の領域は手の領域より外側にある。
2. 体幹の領域は顔の領域より外側にある。
3. プローカ野は口の領域の中にある。
4. 発声に関わる領域は体幹の領域より広い。

問題 81 骨格筋の遅筋に比較して速筋にあてはまるのはどれか。

1. 筋線維が細い。
2. 収縮力が弱い。
3. 色が赤い。
4. 疲労しやすい。

問題 82 正しいのはどれか。

1. 錘内筋線維は  $\alpha$  運動ニューロンの支配を受ける。
2. 錘外筋線維は  $\gamma$  運動ニューロンの支配を受ける。
3. 錘内筋線維の中央部に Ia 群線維が終末する。
4. 錘外筋線維の中央部に II 群線維が終末する。

問題 83 感覚の種類と感覚受容器との組合せで正しいのはどれか。

1. 筋の張力 ————— 筋紡錘
2. 触 - 圧覚 ————— パチニ小体
3. 温度覚 ————— マイスネル小体
4. 痛 覚 ————— ルフィニ小体

問題 84 味覚の部位と求心路との組合せで正しいのはどれか。

1. 舌の前  $\frac{1}{3}$  ————— 舌下神経
2. 舌の中  $\frac{1}{3}$  ————— 三叉神経
3. 舌の後  $\frac{1}{3}$  ————— 舌咽神経
4. 咽 頭 ————— 顔面神経

問題 85 胎盤の機能で誤っているのはどれか。

1. 老廃物の排泄
2. ガス交換
3. ホルモンの産生
4. 血球の産生

問題 86 ベクトル量に含まれないのはどれか。

1. 大きさ
2. 速度
3. 質量
4. 方向

問題 87 誤っているのはどれか。

1. 関節軟骨は滑液によって栄養される。
2. 関節軟骨内には血管が豊富に存在する。
3. 骨端軟骨は骨成長期の骨幹端に存在する。
4. 骨端の関節面は関節軟骨に覆われる。

問題 88 脊椎の生理的彎曲で誤っているのはどれか。

1. 頸椎前弯
2. 胸椎前弯
3. 腰椎前弯
4. 仙・尾椎骨後弯

問題 89 伸張反射の興奮のメカニズムで誤っているのはどれか。

1. 筋が伸張されると筋紡錘が興奮する。
2. 筋紡錘の興奮は Ia 群線維を経由する。
3. 興奮は多シナプス性に伝えられる。
4.  $\alpha$  運動ニューロンを経由して支配筋が収縮する。

問題 90 小脳のフィードバック調整による誤差修正過程に要する時間で正しいのはどれか。

1. 5 msec
2. 20 msec
3. 50 msec
4. 200 msec

問題 91 肩関節で誤っているのはどれか。

1. 関節包内を上腕三頭筋の長頭が通過する。
2. 烏口上腕靭帯は前壁を補強する靭帯である。
3. 棘上筋は外転筋である。
4. 大円筋は腋窩の後壁を形成する。

問題 92 足関節の背屈に作用しない筋はどれか。

1. 長腓骨筋
2. 前脛骨筋
3. 長指伸筋
4. 第3腓骨筋

問題 93 正常な立位姿勢を保持するときの組合せで誤っているのはどれか。

1. ヒラメ筋 ————— 身体が前へ倒れないように活動する。
2. ハムストリングス ————— 膝関節の固定のために活動する。
3. 腸腰筋 ————— 股関節の過伸展を防ぐために活動する。
4. 脊柱起立筋群 ————— 脊柱の前屈を防ぐために活動する。

問題 94 乳幼児の運動行動発達で正しいのはどれか。

1. 3か月で背臥位から腹臥位への寝返りができる。
2. 8か月で歩行が可能となる。
3. 3歳で20秒以上の片足立ちができる。
4. 5歳でスキップ動作ができる。

問題 95 正常歩行における重心位置の上下移動で誤っているのはどれか。

1. 重心の位置は立脚中期で最高となる。
2. 重心の位置は踵接地で最低となる。
3. 重心移動の軌跡は正弦曲線となる。
4. 歩行速度を速めると上下移動の振幅は減少する。

問題 96 年齢層と罹患しやすい疾患との組合せで誤っているのはどれか。

1. 周産期・新生児期 ————— 肺硝子膜症
2. 乳児期～小児期 ————— 水痘
3. 成長期 ————— 骨粗鬆症
4. 壮年期 ————— 動脈硬化症

問題 97 誤っている組合せはどれか。

1. ビタミンB<sub>12</sub>欠乏 ————— 出血傾向
2. カルシウム不足 ————— 骨軟化症
3. 銅代謝異常 ————— ウィルソン(Wilson)病
4. 蛋白質不足 ————— 飢餓浮腫

問題 98 正しい組合せはどれか。

1. 経皮感染 ————— 結核
2. 経胎盤(母子)感染 ————— トキソプラズマ症
3. 接触感染 ————— 赤痢
4. 経口感染 ————— 百日咳

問題 99 仮性肥大を起こした骨格筋の組織で増加している細胞はどれか。

1. 神経細胞
2. 脂肪細胞
3. 骨格筋細胞
4. 平滑筋細胞

問題 100 創傷の修復現象に含まれないのはどれか。

1. 炎症性細胞浸潤
2. 瘢痕化
3. 壊死
4. 肉芽組織形成

問題 101 肉芽腫性炎でないのはどれか。

1. 梅毒
2. ハンセン(Hansen)病
3. サルコイドーシス
4. 肝硬変

問題 102 サイトカインでないのはどれか。

1. ヒスタミン
2. インターフェロン
3. コロニー刺激因子
4. 腫瘍壊死因子

問題 103 後天性免疫不全症候群(AIDS)で正しいのはどれか。

1. 輸血では感染しない。
2. 悪性腫瘍の要因とはならない。
3. HCV の感染による。
4. ヘルパー T 細胞が減少する。

問題 104 自己免疫疾患と症候との組合せで正しいのはどれか。

1. 全身性エリテマトーデス ————— リウマチ結節
2. 強皮症 ————— 蝶形紅斑
3. シェーグレン(Sjögren)症候群 ————— 口内乾燥
4. 多発性筋炎 ————— レイノー症状

問題 105 良性腫瘍の特徴で正しいのはどれか。

1. 再発が多い。
2. 分化度が高い。
3. 転移を起こす。
4. 核分裂が多い。

問題 106 腫瘍マーカーで $\alpha$ フェトプロテイン(AFP)が有用なのはどれか。

1. 肝 癌(肝細胞癌)
2. 膵臓癌
3. 前立腺癌
4. 大腸癌

問題 107 ウイルスが原因となる腫瘍はどれか。

1. 成人 T 細胞白血病(ATL)
2. ウイルムス腫瘍
3. 家族性大腸ポリポーシス
4. カルチノイド

問題 108 良性非上皮性腫瘍はどれか。

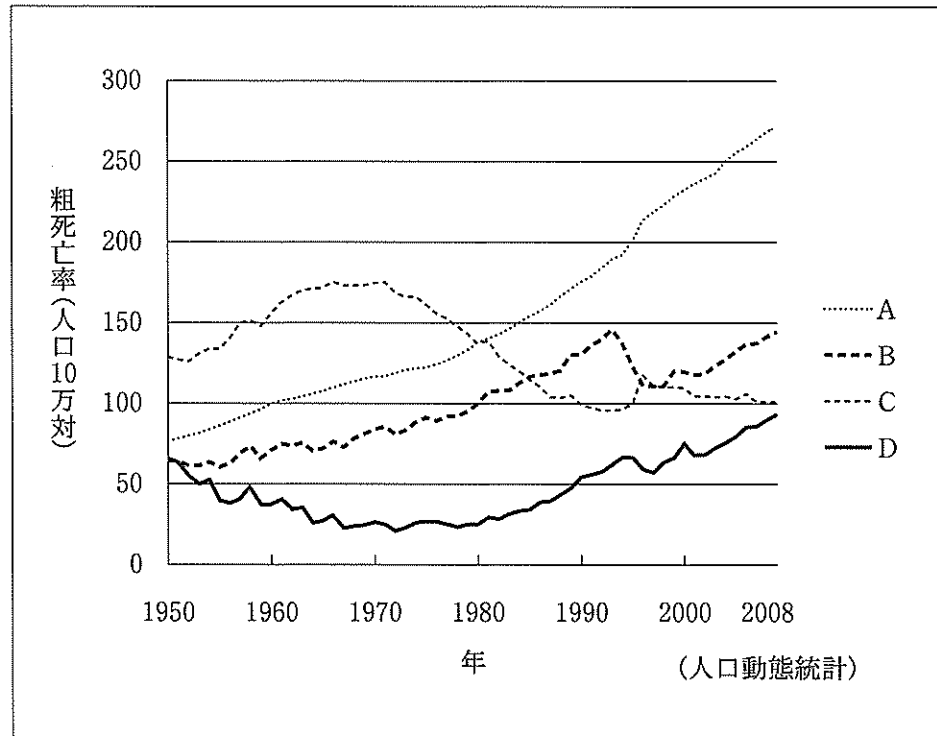
1. 白血病
2. 子宮筋腫
3. 乳頭腫
4. 骨肉腫

問題 109 WHO の健康の概念で正しいのはどれか。

1. 病気がないまたは病弱でないということである。
2. 身体的にも社会的にも調和のとれた良好な状態をいう。
3. 健康の向上において公衆の積極的な関与は重要ではない。
4. 到達しうる最高の健康水準を享受することは選ばれた者のみの権利である。

問題 110 我が国における死因別死亡率の年次推移を図に示す。D は何か。

1. 肺炎
2. 心疾患
3. 脳血管疾患
4. 悪性新生物



問題 111 母子保健で誤っているのはどれか。

1. 胎児の分娩は平均的には最終月経初日から起算して約 280 日目である。
2. 人工死産とは胎児の母体内死亡が確実な時の人工的処置による死産である。
3. 我が国において未熟児・低体重児は 2,500 g 未満と定義されている。
4. 乳児期までの母子間の相互作用は児の発育・発達に大きく影響する。

問題 112 業務上疾病者数で最も多いのはどれか。

1. 負傷に起因する疾病
2. 物理的因子による疾病
3. 作業態様に起因する疾病
4. じん肺およびじん肺合併症

問題 113 生活習慣病で誤っているのはどれか。

1. 脳血管疾患のリスク要因として高血圧が指摘されている。
2. 大腸がんは食習慣との関連が指摘されている。
3. 2型糖尿病は運動習慣との関連が指摘されている。
4. 虚血性心疾患の抑制因子として低比重リポ蛋白(LDL)血症が指摘されている。

問題 114 介護保険法で定められていないのはどれか。

1. 介護認定審査会の設置
2. 老人医療費の支給
3. 介護老人保健施設の管理
4. 介護予防サービスの給付



問題 115 誤っているのはどれか。

1. 我が国の食料の輸入割合はエネルギーベースで 50 % 以下である。
2. 2005 年に「日本人の栄養所要量」は「日本人の食事摂取基準」と改められた。
3. 健康増進法において健康の増進に努めることは国民の責務となっている。
4. 食育とは健全な食生活を実践できるようにする教育である。

問題 116 感染症成立の 3 要因でないのはどれか。

1. 感染源
2. 感染経路
3. 潜伏期
4. 感受性宿主

問題 117 消毒法で正しいのはどれか。

1. 殺菌とは人体に有害な病原微生物を死滅させ感染症の伝播を防止するための措置をいう。
2. 滅菌とは生体に有害な病原微生物だけを殺滅または減少させることをいう。
3. 防腐とは病原微生物を直接殺さないでその繁殖を抑えて腐敗を防ぐことをいう。
4. 消毒とはすべての微生物を死滅させて除去することをいう。

問題 118 許容濃度の設定で最も重要な科学的根拠はどれか。

1. 閾値
2. 極量
3. 半数有効量
4. 致死量

問題 119 酸性雨の主成分となる空気の異常成分はどれか。

1. アルゴン
2. 浮遊粒子状物質 (SPM)
3. 一酸化炭素
4. いおう酸化物

問題 120 正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 上水の基準は環境基本法による。
2. 上水には大腸菌を検出してはならない。
3. 上水末端においては塩素が残留してはならない。
4. 上水処理中に発生したトリハロメタンは発がん物質である。